

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

事業活動を通じて社会の発展に貢献し、あわせて社員の幸福を追求する

売上高

21,165百万円

営業利益

650百万円

経常利益

607百万円

税引前当期純利益

883百万円

② 中長期の経営戦略

1. 乗合事業の強化

路線維持協議や路線再編の推進。CI-CA plus定期券販売拡大とインバウンド対応強化に積極的に取り組む

3. 生活創造事業の拡大

テナントビル機能向上と飲食店舗リニューアルで魅力度向上。新規テナント誘致と福利厚生施設運営受託拡大

2. 貸切事業の収益確保

リモート案内システム利用拡大や車椅子昇降用リフト付き車両増車でサービス向上。公示運賃改定効果の最大化

4. 収益構造の転換

経営資源の有効活用により将来にわたる安定した利益を確保できる構造へ転換

③ 対処すべき課題

① 経営環境の悪化

- ・ 物価・金利上昇と地政学リスクによる訪日客減少
- ・ 沿線人口減少に伴うバス利用者の減少
- ・ バス運転者をはじめとする要員不足の懸念

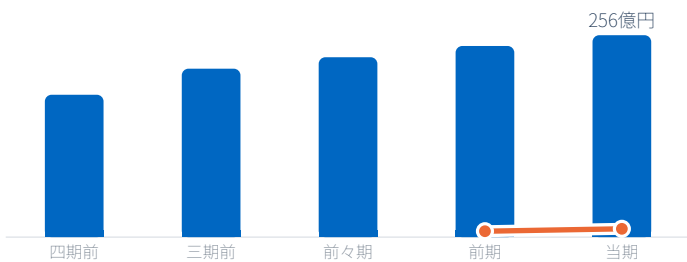
② 財務体質強化

- ・ 安定した利益確保できる収益構造への転換が急務
- ・ 令和13年3月期に借入金残高13,370百万円への削減目標

面接で使えるポイント

- ・ 乗合事業で令和9年3月期売上高21,165百万円目標達成に向け、CI-CA plus定期券やインバウンド対応強化に注力
- ・ バス運転者不足という業界課題の中で、リモート案内システムや車椅子リフト付き車両でサービス品質向上を推進
- ・ 法令遵守・お客様第一・社会への貢献を経営理念の実現と企業行動規範の9項目で具現化する企業姿勢

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
256億円営業利益率
4.1%財務健康度
29点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 41.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

